

# 福島第一原子力発電所の状況

2016年1月27日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/27 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.6 m <sup>3</sup> /h	15.3 °C	0.74 kPa g	A系： 0.04 vol%
		炉心スプレイ系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h	20.0 °C	3.87 kPa g	A系： 0.04 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	18.3 °C	0.24 kPa g	A系： 0.06 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.3 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.07 vol%

## < 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (1/27 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	10.9 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	28.3 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	17.9 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	7.1 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウエルへヒドラジンの注入を適宜実施。

### 【2号機】

使用済燃料プール代替冷却系は、当該系統の電源切替盤点検を行うため、1/26 5:57 に冷却を停止。その後、当該作業が終了したことから、同日 15:38 にSFP代替冷却系を起動。起動状態については、異常のないことを確認。起動後のSFP水温度は28.2°C(停止時27.7°C)で、運転上の制限値(65°C)に対して余裕があり、SFP水温度の管理上問題なし。

使用済燃料プール代替冷却系は、当該系統の電源切替盤点検を行うため、1/27 5:51 に冷却を停止。その後、当該作業が終了したことから、同日 15:42 にSFP代替冷却系を起動。起動状態については、異常のないことを確認。起動後のSFP水温度は28.7°C(停止時28.2°C)で、運転上の制限値(65°C)に対して余裕があり、SFP水温度の管理上問題なし。

## < 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/27 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 \*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## < 4. その他 >

・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。

2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。

・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。

・2016/1/21～ H4エリアにおいてフランジ型タンクの解体を開始。

・2016/1/26～ 3号機原子炉建屋1階にて、高所用除染装置(ドライアイスブラスト除染装置)による高所部の吸引除染を開始。

### 【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

1号機原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体作業を開始。

・2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。

7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。

- 7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。  
・2016/1/8～ 支障鉄骨の解体作業を開始。

**【サブドレン他水処理施設の状況】**

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。  
9/17～サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。  
・一時貯水タンクFの当社および第三者機関による分析結果[採取日 1/19]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、1/27 10:07～海洋への排水開始。

**【地下水バイパスの状況】**

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。  
・地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社および第三者機関による分析結果[採取日 1/16]については同等の値であり、共に運用値を満足していたことから、1/27 11:20～海洋への排水を開始。

**【1～3号機放水路の状況】**

- ※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。  
<最新のサンプリング実績>  
・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】**

- <K排水路排水口のサンプリング実績>  
・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】**

- <H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>  
・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】**

- <地下水観測孔・海水サンプリング実績>  
・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】**

- <地下貯水槽サンプリング実績>  
・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上